



レインボーネット Rainbow Net

れいんぼーTopics

相談支援の充実に向けた会議が 開催されました



令和6年11月29日に宮古地区合同庁舎において宮古圏域障がい児・者相談支援連絡会議が開催されました。この会議は行政機関や各相談支援事業所が一堂に会し、相談支援に関する情報提供や意見交換などをするものです。今回は「障がい(児)者の家族の視点について」というテーマで、児童発達支援センターかぐやの岡崎薫所長による講義と、「重度訪問介護とは」ということで、ユーススタイルケア岩手の都順司管理者からの事業紹介でした。参加者からは、『居住地交流をする際に気をつけたこと』や『強度行動障がいの方への支援』についての質疑応答のほか、各事業所からの近況報告が行われました。この会議を経て、文字通り『家族の支援』を盛り込んだ支援や、『重度の方でも』利用できるサービスが展開されていくものと期待しています。(担当：佐々木)

目次 CONTENTS

●れいんぼーTopics	1	●はあとふるVoice	7
●年頭にあたって	2	●こんにちは、「地域活動支援センターみやこ」です!	
●Close-up! 自立支援協議会	3~5	●異動職員・新任職員紹介	8~9
●Report! 「福祉の現場から」	6	●なんでもKEIJIBAN、編集後記	10

「小さな声、心の聲を

聴けますように」

特定非営利活動法人 宮古圏障がい者福祉推進ネット

会長 刈屋 裕之



年頭にあたり、障がい者福祉に関わる関係各位、地域の多くの皆様には、私ども「宮古圏障がい者福祉推進ネット」の日々の活動に對しまして、深いご理解と温かいご支援を頂いておりますことに職員一同心より感謝申し上げます。

あの忌々しい新型コロナ感染症は、増減を繰り返しながら未だ根絶には至っておりません。さらには季節性のインフルエンザや、聞き慣れないマイコプラ

ズマ肺炎など、街角には目に見えない危険があふれています。世界の各地での相次ぐ戦火においても弱い立場に置かれている人たち、子供たちの涙と悲嘆に暮れているニュース画面がテレビから途切れることはありません。

そんな中で昨年暮れの新聞紙上において、とても嬉しい記事に巡り会いました。

それは、岩手県内の二つの団体、施設が文部科学大臣表彰を受賞したというものでした。一つは私たち宮古圏の岩泉町の「コミュニティカフェ」NPO法人「チエカ」さんの、障がいの有無にかかわらずに誰もが自由に過ごせる居場所を提供し、障がい者への差別や偏見を解消するた

めの活動。またもう一件は、一関市の手話サークル「ひろば」さんの、聴覚障がい者から生きた手話を学び、楽しく交流を深める活動です。

それぞれ障がい者を特別な存在とせず、外から見ただけでは、なかなかその障がいが気づかれない人たちの小さな声を聞き漏らさないようにという交流活動が、福祉の分野に留まらずに、生涯学習支援として評価されたところによりいっそうの大きな喜びを抱かすにはいられません。

地域全体の誇りといっても過言ではありません。

ある英文学者が語っている、「声をあげられる人だけが世界を構成している訳ではない。」という言葉があります。辛く苦しく何とか声に出したいと多くの人たちに、笑顔で耳を傾けるそんな心を広くたくさんの人たちが持ち合わせていただけなら、もっと笑顔と温かさが広がっていくのではないのでしょうか。

明日が、誰でもどんな人でも「こんにちは」「今日も素敵ない日でありますように」と明るく胸を張って挨拶しあえる、そんな地域でありますように願います。



クローズアップ
CLOSE-UP!

自立支援協議会

今年の活動の成果について

実務担当者会議

有原 領一さん

(社会福祉法人宮古市社会福祉協議会 事務局長)

実務担当者会議は、4市町村の地域特性や課題について把握するため、会場を宮古市・山田町・岩泉町・田野畑村、それぞれの市町村で開催し、各市町村担当者の方から現状や課題をお話いただきながら意見交換する等、自立支援協議会として今後取り組んでいくべき課題や、現在行われている活動実績の確認を行っています。

昨年度一昨年度と宮古圏域には新たに地域生活支援拠点／児童発達支援センター／成年後見センターが設置されました。これまで長年に渡り、自立支援協議会で議論されてこられた取組が成果して整備がされたものです。これを受け今年度は、今後新に必要となる取組みに向けて、今後の体制整備として部会の再編成について、事務局を中心に整理してもらい議論してきました。

再編成に向けては先進地視察もなされ、今後さらに具体的整理がなされていくものと期待しています。これまでも、社会や地域の課題に応じて部会の再編がなされてきました。次期また新たな体制として、より一層地域の関係者が連



実務担当者会議

権利擁護セミナー

～福祉オンブズマン活動を通し、権利擁護を考える～
なじやす・もりおか、宮古圏域障がい者自立支援協議会



権利擁護セミナー

権利擁護部会

佐々木 大介

(権利擁護部会 事務局)

今年度の権利擁護部会は、改めて専門部会としての『権利擁護』について見直しに充てながらの活動となりました。定例会は開催していないものの、必要に応じた活動となっており、5

携して課題解決に向けていくことを思います。このことにより、障がいの有無ではなく地域で暮らす誰もが住みやすい街づくりにより一層向けていきたいと思えます。

月に宮古圏域成年後見センターで開催した地域住民向けセミナーの協力をしたほか、9月には盛岡市の『なじよす・もりおか』との共催にて権利擁護セミナーを開催し、福祉オンブズマン活動の紹介という、今まで踏み込んだことなかった分野での活動を展開しています。

活動を通して、新たに見えてきたものもありました。これまでは権利擁護の中でも『成年後見制度』や『障がい者虐待防止』、障がい者等の『差別解消』における協議に軸足を置いてきた経緯がありました。今回、福祉オンブズマン活動を実践している『なじよす・もりおか』と一緒に活動したことにより、『*アドボカシー』という権利擁護における別の側面を再認識することになりました。このことは今後の部会協議にも繋がるものと感じています。

※意思・意見を本人に代わって話すこと。

生活支援部会

大内 カンナ

(生活支援部会 事務局)

生活支援部会は、障がい・高齢者福祉の専門職、地域福祉団体、行政職など様々な分野からのメンバーで構成されています。活動内容は障がいの生活実態及び生活ニーズの把握、障がい者サービス利用促進、あるいは障がい者雇用の普及など多岐にわたる議題を取り上げています。生活支援部会の主な活動として、地域懇談

会があります。宮古圏域4市町村それぞれの会場で地域の方々との懇談形式で実施しています。8月には『働く』と『福祉』の未来を考える」をテーマにしたチャレンジドフォーラムを開催し、多くの方々にご参加いただきました。また、本部会では、地域懇談会やチャレンジドフォーラムの活動に加えて、宮古圏域障がい者自立支援協議会の専門部会の再編について協議を重ねました。福祉ニーズと地域課題に対して、再編



山田町地域懇談会 (生活支援部会の主催)

されるそれぞれの専門部会が協力及び連携することで、これまで以上に障がい者理解の普及と啓蒙・啓蒙に努めていきたいと考えています。

精神保健部会

北村 昇一さん

(宮古山口病院 医療福祉相談連携課)

精神保健部会では、主に精神障がいを抱える方々の、入所施設や精神科病院からの地域移行、そして、地域定着を推進するために、この地域の状況に合わせた支援体制を検討する活動を実施しています。具体的には、定例会を開催し、地域移行候補者の検討、地域移行者の状況の確認、精神障がいを抱える方々が地域生活を送る上で、解決が困難な課題に直面した際等の事例検討を実施。加えて、昨年は宮古圏域における『精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム』構築に向けての協議も実施しています。定例会とは別に、『地域生活支援とは』をテーマに、北海道伊達市障がい者総合相談支援センター「あい」室長・主任相談支援専門員の大槻美香さんを招き地域生活支援セミナーを開催しました。当日は、会場参加者の他、オンラインによる参加者も多数参加していました。精神保健部会では、引き続き、当事者の方々、そして地域の方々と共に、誰もが住みやすい、地域づくりを目標に活動を展開したいと考えています。

発達支援部会

篠澤 麻美子さん

(山田町教育委員会 特別支援コーディネーター)

発達支援部会は、発達に気になる子ども、障がい児、発達障がい者の生活実態、および生活ニーズの把握や支援の推進、関係者等のスキルアップに関するところについて協議を行うための部会です。また、地域資源の開発・改善や医療的ケア児等の支援に関する研修会等も行っています。



精神保健部会

「宮古圏域発達障がい学習会」では、「僕が跳びはねる理由」の映画上映を行いました。自閉症の人が生きている世界、見えているもの、聞こえているものがあるのだということを感じ、理解と支援の工夫を考える良い機会となりました。

発達支援に関する理解の促進と普及啓発のため、「宮古圏域発達支援セミナー」も開催しました。今年度は、「発達特性のある子ども性の問題」と題して、岐阜大学医学教育開発研究センターの川上ひろ先生に講演いただきました。性教育は、行動の原因を正しく理解し、発達特性に合わせた支援の方法を考えていくことが大切だということをお話いただきました。

また、「医療的ケア児等の支援に関する研修会」として、岩手県医療的ケア児支援センターの方をお招きして、医療的ケア児支援の実態と活動内容、今後の課題についてお話しいただきました。その後、「医療的ケア出張講座の基礎講習」を宮古圏域の保育所、通所事業所等、多方面からご参加をいただき、開催することができました。医療的ケア児の支援については、みなさんの関心が年々高まり、意欲的に支援を学ぼうとする方が増えていることを実感いたしました。

今年度は、今まで中止していた「なないろ茶話会」も復活し、障害のあるお子さんのいる保護者の方や支援側の人たちが集まって、交流することができました。ゲストに漫画家かなしろにゃんこ。さんに参加いただき、2時間では足りないくらい、お互いの思いをたくさん語り合

うことができました。

どの活動も、支援する側の人たちにとって、大切な活動です。もっとたくさんの方々にも広く周知したいところですが、なかなか広がらないのが現状です。多様化の時代に、様々な特性を持つ人たちがお互いを受け入れ、理解し合おうとしながら共存していくことが望まれています。その中で私たち、発達支援部会委員ができることは何かを考えながら、少しずつ歩みをすすめていくことで、宮古圏域の支援の輪が広がっていくものと考え、活動していきたいと思っています。



発達支援部会

Report! 「福祉の現場から」



Report

共生する社会づくりのために「訪問介護サービスが支える生活」

有限会社 すずらん介護事業所 取締役／介護支援専門員 昆 千佳子

平成17年に山田町にて居宅介護支援と訪問介護支援事業を立ち上げ主に町内で高齢者向けの介護サービスを行ってまいりましたが、東日本大震災により事業所が被災し、同町内の豊間根に移転し、現在は山田・宮古の利用者にサービスを提供してまいります。代表が歯科医師であり、利用者の歯及び口における疾患に対し、寝たきりなどで通院が困難な方には積極的にむし歯の治療



や入れ歯の新しい調整や口腔ケアなど訪問歯科診療を行って利用者のニーズに応じております。



自分の口から食べるといふ本来の食事の摂取が制約されるとストレスが生じ、生きる意欲が失われ体力も減退しクオリティライフ

が低下します。まさに食べる喜びは生きる喜びそして力となることから、利用者の口腔内状況の改善のため訪問歯科診療を行ってまいります。

そして、新たに今年4月に障がい者の訪問介護部門を創設しサービス提供を始めました。利用者が安心安全に快適に日々の生

活を送れることを基本理念としております。今後も社会の流れとして重度障がい者本人が自立して生活したい方や、家族の意向で同居はしているが家族のリフレッシュなどで一時的に利用する方も増えると考えられます。基本的には住み慣れた在宅で生活を送りたいという方がほとんどだと思います。障がいにおいても訪問介護サービスがあることを多くの人に理解してもらい今後地域や多職種と連携し情報を共有して健常者と障がい者がお互いに理解しあい共生する社会づくりに貢献していきます。



はあとある Voice (当事者の声)



11月2日(土)

三陸鉄道乗車体験に参加して

撮待 皓士 (撮待 みゆき)

初の三陸鉄道貸し切りでのミニ旅行。当日体調不良で参加できなかった方もおりましたが、それが医療的ケア児・者、重度障がい児・者の体調管理の難しいことの1つでもあります。

空はあいにくの雨模様。スタッフさんのサポートのもと、雨に当たることなく待合所へ入り出発を待ちました。その間、駅員さんのマイクを通して音が響いて嫌だったのか大声を上げ、体を大きく動かし不快を訴えている息子。また、てんかん発作が天気に左右されやすくやや不安に思っていた私でしたが、多くのスタッフの方々のお声がけや、スキンシップで息子も少しずつ落ち着き始め、私の不安も軽減されました。

時間になり、いざ車両へ。出発時には駅員さんがミニサイズの大漁旗を振ってくれるなど粋な計らいを頂き車両は動き出しました。バギーの固定もしっかりとされ安心して出発。息子の表情も穏やかで、たくさんの方に声を掛けられ笑顔で応えていました。会話は出来ないので察する事しか出来ませんが、楽しい空間だったことには間違いないと思います。途中、海の見えるスポットで停車し、しば



し車窓から海を眺めました。あいにくの雨と思っていました。雨でかすんだ海はいつもとは違う風景で心が癒されました。せっかくなので息子のほっぺを手で包み外の風景を見せようとしたが、車内の会話を聞いている方が楽しかったようでプイッと顔を車内に戻し笑っていました。ま、息子が楽しければそれで良しと、息子はスタッフの方に任せきれいな海をばんやりと眺めていました。

少し長いかなと思っていた時間もあっという間に折り返しの船越駅に到着。停車中に水分補給をさせ吉宮駅に向かい汽車は動き出しました。帰りの車内でもスタッフの方々にたくさん声をかけていただき、ご機嫌な息子の顔。かなしろにゃんこ。先生に描いてもらった似顔絵はあまりにもハンサムすぎて笑ってしまいました。それにつられて笑う息子：お前のことだぞ(笑)でも、この笑顔が見たくて毎日過ごしている私には皆様への感謝しかありません。ありがとうございます。

参加者数は当日にならないと分からないことが多いかと思いましたが、今後もこのような企画をして頂けたらありがたいなと、個人は思っております。このような機会がないとなかなか外に連れ出すことも難しくなってきた19歳の息子。自分一人では出来なくとも皆様のサポートがあるからこそ外に連れ出そうと思える今回のような時間がこれからも継続して頂けるよう心より願っております。

各関係機関、関係者の方々にお礼申し上げます。息子に楽しい時間を過ごさせて頂き本当にありがとうございます。

支援センター「みやこ」です!

に、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上、社会との交流の促進を目的に、創作的な活動、SST(社会生活技能訓練)との連携強化のための調整、ボランティアの育成、障がいに対する理解促進を図るための普及啓発事業を実施しています。

はあどふるギャラリー



自然に触れて…秋の散策(趣味サークル)



楽しい制作!ハロウィン小物入れ作り(ドンボの会)



じっくり楽しみましたリース作り(表現活動)



ポッチャに挑戦!(ナイスフレンドの会)

「地活みやこ」活動紹介

今

年度も地活を利用してくださる皆様のご意見を参考にしながら

様々な活動を行っております。

活動の一部をご紹介します!

ご利用お待ちしております!

地活利用者の声



地活で人と出会い、一緒に活動したり話をすることが楽しいです!私の大切な居場所です。



自分一人ではできない活動がたくさんあり、とつてもたになります!



ハンドマッサージ気持ちいい~(いやしの部屋)

産休育休を経て、若竹会へ帰任することになりました。
相談の現場はレインボーが初めてであり、ここでの経験は私の相談業務の基礎となっています。これからは日々精進しながら頑張っていきます。
お世話になりました、ありがとうございました。



上田 有加

相談支援専門員

異動職員紹介

ありがとうございました!



こんにちは、「地域活動

「地域活動支援センターみやこ」では、障がい者等(身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及び難病等)を対象ピアカウンセリング等の活動、各種サークル活動を行っています。また、専門の職員を配置し、医療・福祉および地域の社会基盤

はあとふるフェスタ2024、開催しました!



(C)マスターワークス
映画「共に生きる 書家 金澤翔子」

12月4日(水)～8日(日)の5日間、イーストピアみやこ2階を会場に「はあとふるフェスタ2024」を開催いたしました。今年度も『ともに生きる社会へ』をテーマに行われましたが、多くの方が興味を示され、共生社会への理解の輪が広がる意義深いイベントとなりました。

はあとふるフェスタ2024の内容

☆作品展示

- ・宮古圏域内障がい福祉事業所活動作品
- ・県内在住アーティストの個人作品
- ・地域活動支援センターみやこ活動作品

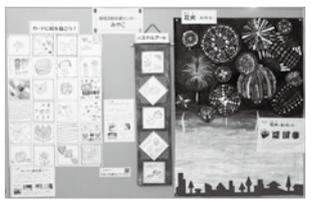
☆宮古圏域内障がい福祉事業所紹介

☆宮古圏域障がい当事者団体等ネットワーク活動紹介

☆映画上映「共に生きる 書家 金澤翔子」(2回上映)

金澤翔子と母・泰子の日々の活動に密着して、彼女たちが共に生み出す“書道”と幸せの形に迫ったドキュメンタリー映画。

☆手話劇「ろうのあした」～はだかの王さま～



地活センターみやこ作品



作品展示



来場者の様子



事業所紹介

ご来場者からの感想をご紹介します

皆さんの感性が素晴らしいと思います!

私もがんばろう! という気持ちになり、良い刺激を受けました

当事者の生の声が聞ける内容の映画でとても良かった。多くの人に観てほしい

～ご来場、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます～

令和6年10月1日より、勤務しております巖若と申します。以前、宮古市社会福祉協議会の職員として、4年間ラインポーンネットに出向していました。お陰様で、当事者・ご家族、関係機関の皆さんからのご協力・ご指導により、日々の業務にやりがいを持つことができています。また、ラインポーンネットに戻って来たことで、温かい言葉をかけてくださることが多く、とても嬉しく感じています。ご迷惑とご不便をお掛けするかと思いますが、自己研鑽しながら地域貢献ができるよう支援に励みたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



相談支援専門員
巖若 梢

新任職員紹介

なんでも KEIJIBAN

ゲームなど貸し出しの「楽屋」

冬だから、外に出るのも寒いし、皆で部屋で楽しい時間を過ごしたいな。そんな時には、室内で出来るゲームはいかがですか？

レインボーネットでは、麻雀、黒ひげ危機一髪MAX5（マックスファイブ）、人生ゲーム、ジエンガ等を貸し出しています。（たくさんあるので、電話でお問合せいただいてもOKです。参考までに写真をご覧ください。）

どのゲームもみんなでワイワイ楽しめます！黒ひげ危機一髪は5体の黒ひげが一気に飛び出しますよ。ところで、黒ひげ危機一髪は、黒ひげが飛び出したら勝ち！ってご存じでしたか？ゲームで盛り上がりつつ、寒さを吹き飛ばしましょう！

どうぞレインボーネットまでお問い合わせください！福祉関係の団体の皆様のみならず、学校や子供会、地域の皆さんと…どうぞ楽しんでください！（皆さんのゲームですので、大切にしてくださいね）



※ご利用していただくには事前の電話予約が必要となり、取りに来られる方に限りです。お問い合わせお待ちしております！

●問い合わせ先 レインボーネット事務局
TEL 0193-764-7878
FAX 0193-776-3991

令和6年度会費のご協力ありがとうございました！

- 会員数の状況（令和6年11月30日現在）
個人会員 74名（正会員 65名・賛助会員 9名）
団体会員 40団体（正会員 32団体・賛助会員 8団体）
- 団体会員のご紹介（令和6年11月30日現在・順不同）

会員募集中です！
よろしく願い
いたします。



かい いん ぼ しゅう 会員募集

かい いん しゅるい ねんかいひ
会員の種類と年会費
について

個人

正会員 1,000円
賛助会員 500円

団体

正会員 5,000円
賛助会員 1,000円

NPO法人
レインボーネットの活動を
応援して下さる方を
募集しています。



団体名	
一般社団法人 フロムいわてソリューション	いわて高次脳機能障がい友の会 イーハートープ沿岸地区
NPO法人 ハックの家	岩手県社会福祉事業団 救護施設松山荘
ジョブ・パートナー山田	宮古市末広町商店街振興組合
県北緑化 株式会社	山田町手をつなぐ親の会
障がい者支援施設 望みの園はまなす	宮古市社会福祉協議会
宮古市身体障害者福祉会	医療法人財団正清会 三陸病院
翔友 みやこワーク・ステーション	社団医療法人新和会 宮古山口病院
ワークハウスアトリエSun	若竹会 わかたけ学園
みやこ手をつなぐ育成会	若竹会 自立生活支援センターウイリー
NPO法人 きぼうハウス	若竹会 SELPわかたけ
フリースクール花鶏学苑	若竹会 あっとほうむLife みやこ
岩手県立宮古恵風支援学校	若竹会 ワークプラザみやこ
自立更生会 宮古アビリティセンター	若竹会 らいず
新里紫桐会 工房まんさく	若竹会 かあむ
岩泉町社会福祉協議会 いずみの里	若竹会 地域生活支援拠点つむぎ
グループホームうららか	グループホームひまわり
宮古・山田訪問看護ステーションゆずる	イーハートープとりもと
みやこボランティア連絡協議会	岩泉町身体障害者福祉協会
職業訓練法人 宮古職業訓練協会	あおば会 あおば工房
株式会社 川井産業振興公社	社会福祉法人 田老和心会

編集後記

今回の「福祉の現場から」では、山田町の「すずらん介護事業所」さんに原稿依頼をさせて頂いていただきました。年末の多忙な時期に快く引き受けて下さり、また、支援現場の写真においては利用者さんの同意も含めた対応をしていただき、感謝申し上げます。毎回このような支援の場面について、紙面を通して伝えていくことによって、似たような困り感を持った方の一助になればと思うばかりです。【佐々木】

令和7年はへび年です。へびは古代から再生や永遠の象徴とされており、皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる姿がその由来となっているのだそうです。ということで、手取り早く生まれ変わるには何がいいか？部屋の模様替えで気分一新。普段選ばない色の服を着てみる。髪を切る等々。ちよっとワクワクしてきました。小さな変化を楽しめるそんな一年にしたいと思います。【大内】

昨年の秋はカメムシが多かったとことで、雪が多い冬ではと想像していましたが、今年の冬の雪の量はどうでしょうか？小さい頃はソリすべりに、スキーに、かまくら作りにと、あんなに楽しんでいたのにいつからか「降らなさいいな」と思う存在になりました。皆さん、寒さは続くのでお互いあったかくして過ごしましょう！
【楢杵】

◆発行

NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット（レインボーネット）
岩手県宮古市緑ヶ丘2番3号
はあとふるセンターみやこコア
TEL 0193-764-7878
FAX 0193-77-3991
E-mail: info@nyako-rainbow.com
URL: https://www.nyako-rainbow.com/

◆発行責任者

会長 刈屋裕之

◆企画・編集

レインボーネット事務局